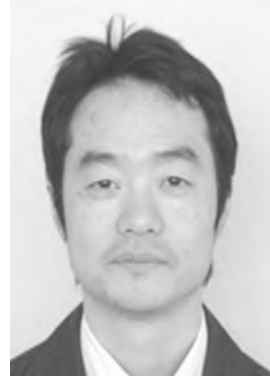


II 特別シリーズ II

科学技術 振興機構 『さくらサイエンスプラン』 友情と感激

第76回

津山高専の活動報告



菊地洋右 津山工業高等専門学校 総合理工学科情報システム系 准教授

シンガポールの学生が科学技術に 関心、高専との交流や日本文化を体験

① プログラムの概要

10月8日(土)から15日(土)までの日程で、シンガポールのニアアンポリテクニク(以下、NP)の学生9名、教員2名がさくらサイエンスプランを利用し、訪日しました。このプログラムの目的は、1. シンガポールの学生に日本の科学技術を知ってもらう。2. 中国地区の高専と交流を深めてもらう。3. 日本の文化体験をしてもらうの3点でした。シンガポールには5つのポリテクニクがあります。ポリテクニクは高専と似通った学校であり、学んでいる内容、学生の年齢層はほぼ同じです。今回訪日した学生は電気系の学生と情報系の学生でした。5つのポリテクニクと高専機構は包括連携協定を締結しており、その協定の下、各高専が様々な交流を行っています。津山高専は平成25年度から毎年NPで技術英語研修を行い、高専の学生を派遣してきました。この技術英語研修には津山高専以外の高専生も参加しています。このように今までの交流は日本からの学生派遣のみでしたが、今回の訪日は相互交流を実現する第一歩となりました。

② プログラムの成果

プログラムの日程にあるように、島根県、広島県、岡山県の中国地区から兵庫県と広範圏に訪れました。三瓶青少年交流の家では津山高専の学生だけでなく中国地区の高専の学生と留学生との交流、三瓶青少年交流の家に滞在している他の団体の方とも交流があり、有意義な体験となりました。また、出雲大社も訪れました。 広島商船高専では学校長表敬訪問の後に広島丸に乗船し、商船高専の説明を受け、船内を見学しました。その後、航海シミュレータを見学し、シミュレーションを体験した。NPの学生は工学分野の学生であったので航海シミュレータについては関心が高かったと思

プログラム	
1日目	岡山到着
2日目	島根に移動、三瓶青少年交流の家にて留学生交流シンポジウムに参加
3日目	三瓶青少年交流の家から広島へ移動
4日目	広島商船高専訪問(校長室訪問、広島丸乗船、航海シミュレータ見学)
5日目	津山に移動、津山高専校長と会談、津山市長表敬訪問、パナソニック(株)AVCネットワークス工場見学、津山高専学生との交流
6日目	津山高専研究室訪問、津山高専学生会とのfarewell party
7日目	神戸に移動、兵庫県立大学神戸情報科学キャンパス訪問、理化学研究所スーパーコンピュータ「京」見学、新幹線で東京に移動
8日目	帰国

山の名物である「シイタケ弁当」を手配しました。午後にはパナソニック(株)AVCネットワークス社津山工場を見学しました。日本の先端的なものづくりを見学する機会となりました。その後、津山高専学生会との学生交流として電動餅つき機で餅をつき、学生どうしの交流を図りました。2日目は研究室訪問を行いました。電気系の研究室と情報系の研究室を見学し、どのような研究をしているかの説明を受けました。これには、津山高専の学生にとっても英語で研究を説明する良い機会になりました。その後、茶道部を訪れ茶道体験をしました。NPの学生にとっては茶道という日本文化に触れる機会になったとともに津山高専の学生にとっては日本文化を英語で説明する良い機会になりました。2日目最後に津山高専学生会が主催してfarewell partyを開催しました。そこでは手巻き寿司、岡山産のブドウなどを準備しました。NPの学生との2回目の交流という事でかなり学生間交流が生まれたようです。また、ブドウについてもシンガポールにない大きさの粒、味に驚いていました。こういったことも日本を知る一つの機会になったものと思われれます。

われます。また、航海シミュレータの説明を広島商船に在学している留学生が行ったこともNPの学生にと刺戟になったと思われます。津山の活動は2日間及びました。初日に津山高専、津山市長表敬訪問を行い、昼食は津



津山市長を表敬訪問



津山高専校長との会談



研究室訪問



パナソニック(株)AVCネットワークス社津山工場見学

最後に、本プログラムの実施にあたり、さらにはサイエンスプログラムの関係者、津山高専の教職員および学生、兵庫県立大学の教職員をはじめ多くのの方々のお世話になりました。心より感謝申し上げます。

学なければ今回のような参加学生の満足度が高く、教育効果もあるものは望めないと痛感しました。また③のような相互交流の足掛かりとして今回のプログラムは非常に大きな役割を果たしています。また、さらにはサイエンスプランでは引率教員も訪日します。これを教員の相互交流に発展させていければと考えています。

津山滞在后、神戸にバスで移動し、津山高専の協定校である兵庫県立大学(神戸情報科学キャンパス)を訪問しました。3次元立体投影などを体験しました。続いて、理化学研究所(スーパーコンピュータ「京」)を見学しました。その後、神戸を自由行動で散策し、新幹線で神戸から品川に移動しました。NPの学生は日本の鉄道を体験する機会はこのときだけでしたので、新幹線に高い興味を示していました。これも一つの日本の科学技術を体験する機会となりました。

③プログラム後の活動

このプログラムの実施後の12月17日から21日に、津山高専主催でInternational Student

Conference 2016 in Singapore ~IT-NP Students' Seminar~と題して、NPでの研究発表会を行いました。この発表会では本プログラムで訪日した学生がホストとして歓迎してくれ、参加した学生たちと交流しました。3月には①で述べた技術英語研修を行う予定であり、学生間の交流が増えることを期待しています。今後は双方方向のインターンシップの可能性を探り、実現していきたいと考えています。

④将来の課題と展望

今回の訪日はNPの学生にとってバス移動の多いスケジュールでしたが、日本の科学技術体験、学生との交流、文化体験と非常に充実した内容であり、満足度も高かったと思います。東京と違い、地方では科学技術に関する施設、文化施設の距離が離れていることを考えると様々な体験をしようというだけでは何らかの対応が必要であると感じました。また、移動の多さ、訪日する学生の人数によりコストは一高専で賄える額ではありません。さらにはサイエンスプランのような事業が